備前市事務事業評価シート

（平成21年度事業）

事業の概要

事業開始年度			平成１７年度～	根拠法令・例規等	備前市支所及び出張所条例
総合計画	大項目	基本目標	06 健全で自立したまちづくり	問合先 担当課（室）	市民課
	中項目	基本施策	01 簡素で効率的な行財政運営	職・氏名	三石出張所長　吉田　修
	小項目	施策	12 その他事務管理（財産管理）	電話	０８６９－６２－０５０１
事務事業名			04 三石出張所管理運営事業	このシート作成に要した時間	1.5 時間

事業の目的

対象（誰・何に対して）	三石地域住民及び地域外の三石出張所利用者
目的（何のために）	三石地域住民等の窓口サービス等の利便性を図る。
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	地域住民の窓口サービスの拠点として、気軽に利用できる窓口を目指すとともに利用件数を維持する。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業の実績

目的を達成するため実施した事業

細事業名	事業の説明	優先度
三石出張所管理運営事業	出張所において、諸証明等の発行業務・収納業務及び本庁担当課との取次ぎ業務を行っている。諸証明発行業務：2,639件　市税等収納業務：3,371件　取次ぎ業務：783件	◎

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
事業費	直接事業費	千円	2,753	3,104	2,297
	必要人員　人件費		2.00人　11,870	2.00人　11,880	2.00人　11,851
	事業費計		14,623	14,984	14,148
決算額 財源	国県支出金	千円			
	受益者負担		119	167	167
	繰入金				
	市債				
	その他（　）				
	一般財源		14,504	14,817	13,981
受益者負担比率		%	0.8%	1.1%	1.2%

結果指標名	単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
説明		諸証明発行等総取扱件数		
結果指標量	事業	7,349	6,392	6,793
対前年比	%	－	87.0%	106.3%
活動コスト	円	14,623,000	14,984,000	14,148,000
単位当たりコスト		1,990	2,344	2,083

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業の成果

成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
取扱業務1件に掛かる費用	目標値（A）	1800	1800	1800	1800
	実績値（B）	1990	2344	2083	到達目標値
	達成率（B/A）	110.56%	130.22%	115.72%	1800

成果指標設定の考え方・式や説明

通常事業経費／総取扱件数
取扱業務1件に対する費用を比較することにより、事業の必要性・効率性を確認し、今後の事業のあり方を把握する。

事務事業の評価

妥当性の評価

- 市の関与の妥当性
  - ☐ 市が実施するよう法令で義務づけられている
  - ☑ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
  - ☐ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
  - ☐ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- 必要性
  - ☐ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
  - ☐ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
  - ☐ 事業開始当初の目的から変化してきている
  - ☐ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている
  - ☑ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある
- 市民ニーズ
  - ☐ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価 <A～E>：**B**

効率性の評価

- コスト
  - ☑ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
  - ☐ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
  - ☐ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
  - ☑ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- 手段
  - ☐ 受益者負担率は適正である
  - ☐ 受益者負担率を見直す余地がある
  - ☐ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
  - ☐ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
  - ☑ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価 <A～E>：**C**

有効性の評価

- 目的達成度
  - ☑ 成果指標の設定は適切である
  - ☐ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
  - ☐ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
  - ☐ 成果指標達成率は80%未満となっている
  - ☐ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない
- 市民参画度
  - ☐ 法定事務　・　内部管理事務　であり成果は求めにくい
  - ☐ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
  - ☐ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価 <A～E>：**C**

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい

進行年度（H22年度）の改革改善内容

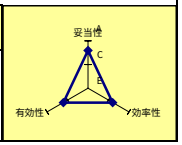
	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
状況		○					

説明：窓口取扱件数の増加は見込めないため、事業費の削減に努める必要がある。

総合評価

三石地域住民への窓口サービス提供の場として、継続していく必要がある。平成２１年度における利用状況も、地域住民１人が2.3回利用した結果となっている。また、高齢者の利用が多く、身近で便利な利用しやすい場となっている。ただ、事業費面については、ある程度までの削減は可能であると考えられるが、現状では大幅な削減は困難である。

評価区分 <A～E>：**C**



平成23年度の方向性 及び 取組目標

	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
方向性		○					

取組目標：利用率の増加は見込めないが、利用しやすい窓口を目指していく。また、出張所の維持管理について、軽微な補修や環境整備は職員で行い経費の削減に努める。